

被爆 76 周年原水爆禁止世界大会

長崎大会

長崎大会・開会行事

日 時 2021年8月8日（日） 10：30～11：45

会 場 長崎ブリックホール国際会議場／県長崎市茂里町2-38

中継会場 勤労福祉会館2階講堂／長崎市桜町9-6

主 催 被爆76周年原水爆禁止世界大会実行委員会

長崎大会・開会行事プログラム

開会あいさつ 内野昌幸（うちのまさゆき）／長崎大会実行委員会実行委員

黙祷

主催者あいさつ 川野浩一（かわのこういち）／実行委員会共同実行委員長

被爆者の訴え 山内武（やまうちたけし）／被爆体験者訴訟第2陣会長

大会基調提起 北村智之（きたむらともゆき）／実行委員会事務局長

閉会あいさつ 山下和英（やましたかずひで）／長崎大会実行委員会実行委員長

YouTube 配信 URL・QRコード

<https://youtu.be/RpDx4UCx7ks>

10：25～配信開始



長崎大会・分科会案内

日 時 2021年 8月 8日（日） 14：00～16：30

第1分科会 核兵器禁止条約発効の効果と今後の課題
会 場 勤労福祉会館 2階講堂
講 師 川崎哲（ピースボート）
川野浩一（原水禁共同議長）
中村涼香（ノルウェー派遣平和大使・議員ウォッヂ）
内 容 核兵器禁止条約は、2017年7月に採択され、2021年1月に発効するまでに、様々な形で世界に影響を及ぼしています。条約発効にともない、核軍縮に向けて、どのようなことが行われ、どのように世界が動いていくのかを学びます。
また、原水禁共同議長、ご本人から被爆体験、核兵器廃絶運動に取り組む思いを聞きます。
そのほか、学生の核兵器廃絶活動についても報告してもらいます。
運営委員 菖蒲谷眞一（全水道）、小林郁子（自治労）

第2分科会 核燃料サイクル政策の破綻、なぜ日本は決断しないのか
会 場 ブリックホール国際会議場
講 師 沢井正子（元原子力資料情報室）
原水禁鹿児島
原水禁佐賀
岩瀬愛佳（Fridays For Future 長崎、長崎県立諫早高校二年）
内 容 日本は46トンものプルトニウムを保有しています。原発が稼働し、核燃料サイクルが確立すれば、「将来にわたって日本のエネルギーは安定的である」といまだに言い続ける電力会社と日本政府。核燃料サイクルの破綻は明らかであるにも関わらず、何故いまだに日本は政策変更を決断しないのか。日本の核燃料サイクルの問題点をうきぼりにします。
また、川内原発（鹿児島）、玄海原発（佐賀）が抱える問題を、脱原発運動に取り組む立場から報告をしてもらいます。
そのほか、「原発と環境問題」「若者のアプローチ」をテーマに、環境問題に取り組む若者からの報告を聞きます。
運営委員 林健（東京）、西部真紀子（北海道）

第3分科会 被爆二世とは何か、その課題と自身の役割、次世代へ繋ぐ
会 場 NBC 2階メディアツー
講 師 青木栄（熊本県高教組）、平野伸人（高校生平和大使派遣委員）、
大隈ゆうか（第23代高校生平和大使）、大澤新之介（第23代高校生平和大使）
内 容 被爆体験の「継承」に焦点を当て、被爆二世の活動を学びます。二世、三世と数字が大きくなっていくことで、被爆体験が風化しないようにするため、どのような意識で活動をし

ているのか、これまでに体験したこと、現在の活動についてお話を聞きます。そのうえで、今後の運動の展開について考えていきます。

また、被爆体験を「継承」する意志をもった若者が、どのような活動をしているかの報告を聞きます。

運営委員 振津かつみ（医師）、田口勇作（社青同）

第4分科会 見て、聞いて、学ぼうナガサキ

会場 NBC3階ビデオホール

講師 山川剛（長崎県原爆被爆教職員の会副会長）、西岡由香（漫画家）

内容 戦争を体験していない人に戦争の恐ろしさを伝える難しさ、伝えるための工夫について話を聞きます。多数のスライドを用いて伝える被爆体験から、「戦争」、「被爆」とは何かを学びます。

また、「原爆に関する紙芝居」を通して、被爆体験の継承問題について、考えていきます。

運営委員 角田達夫（日教組）、千葉聰美（日教組）

長崎大会・分科会講師プロフィール

第1	川崎 哲(かわさき あきら)
	ピースボート共同代表として2008年から広島・長崎の被爆者と世界を回る「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」プロジェクトを実施。核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)国際運営委員。恵泉女子大学、早稲田大学、聖心女子大学非常勤講師。 ◇著書『核拡散』(岩波新書 2003)、『新刊 核兵器を禁止する』(岩波ブックレット 2018)、『核兵器はなくせる』(岩波ジュニア新書 2018)など。
第1	川野 浩一(かわの こういち)
	原水爆禁止日本国民会議・共同議長。81歳。 私は被爆者だが、加害者の子どもでもある。父は北朝鮮の最北部、平安北道の警察官といえば聞こえはいいが、鴨緑江を超えて中国から侵入してくる、匪賊（ゲリラ）対策が主な業務で、捕まると、首を切り、見せしめに電柱にぶら下げていたようだ。酔うとその話、母が「そんな話はやめろ」と止めていた。父の召集で1歳の時長崎に、5歳の時、3.1kmのところで被爆した。現職中は組合（自治労・連合）、退職後は原水禁、被爆者の活動を。
第1	中村 涼香(なかむら すずか)
	2000年、長崎県長崎市生まれ。祖母が被爆者の被爆3世。活水高校平和学習部に所属し、高校生平和大使として国内外に被爆地長崎のメッセージを発信。大学進学後、核兵器禁止条約を推進する「議員ウォッチ」や「すすめ！核兵器禁止条約」など、東京を中心に様々なアクションに参加。今春、更なる東京でのアクションの広がりと大学卒業後も活動を継続できる基盤と環境を整えるために「KNOW NUKES TOKYO」を設立する。
第2	澤井 正子(さわい まさこ)
	東京生まれ。中央大学経済学部卒。1987年チェルノブイリ原発事故を契機とした「反原発

	出前お店」に参加し、脱原発の活動を始める。1989年ドイツのバッカースドルフ、ゴアーベンを訪れ、放射性廃棄物・プルトニウム問題と向き合う。1992年から原子力資料情報室スタッフ、六ヶ所再処理工場などの核燃料サイクル問題担当。福島原発事故国会事故調で協力調査員。核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団事務局。
第2	佐賀県平和運動センター／原水爆禁止佐賀県協議会
第2	鹿児島県護憲平和フォーラム／原水爆禁止鹿児島県民会議
	岩瀬 愛佳（いわせ あいか） Fridays For Future(FFF)Nagasaki 所属。長崎県立諫早高校2年。 同年代が気候変動問題に対して声を上げている姿に感化され、FFFNagasakiを立ち上げる。楽しみながらアクションを起こすことをモットーに、SNSでの発信、駅前啓発アクション、オンラインイベント開催などの活動を行ってきた。 現在は、政治から市民の環境意識を変えるため、県議会議員との意見交換などを行っている。
	青木 栄（あおき さかえ） 1961年佐賀県生まれ。熊本県の高校教員として30年ほど務め、現在は熊本県高等学校教職員組合執行委員長。父親が長崎で被爆。2012年に熊本被爆二世・三世の会を結成し、被爆体験の継承活動を中心に現在まで活動を続けている。娘が第12代高校生平和大使（2009年）に熊本県初代の高校生平和大使に任命されたことをきっかけに、高校生の平和活動に対するサポートも始める。2019年には高校生平和大使派遣委員会共同代表になって、熊本県内の高校生とともに平和活動に取り組んでいる。
	平野 伸人（ひらの のぶと） 1946年、12月長崎に生まれる。母が被爆者の原爆被爆二世。1986年、長崎県被爆二世教職員の会を結成し会長となり、1987年には全国被爆二世教職員の会会长となる。被爆二世の問題に取り組むと同時に、韓国被爆者問題や中国人強制連行裁判、被爆体験者問題等に取り組む。1998年より、全国被爆二世団体連絡協議会会长を務める。（2006年真で）2009年、広島の第21回「谷本清平和賞」を長崎から初受賞。2018年、第11回秋月平和賞を受賞した。
	大隈 ゆうか（おおくま ゆうか） 第23代高校生平和大使。N高等学校3年。 被爆4世。曾祖母が長崎・錢座町で被爆。曾祖母が被爆者であることや、保育園や小学校での平和学習を通じ抱いた核兵器に対する恐怖心や、今も存在していることに対する問題意識から、行動を起こしたいと高校生平和大使に応募。2019年に韓国派遣の高校生平和大使を務め、現在は第23代の高校生平和大使として活動。高校生1万人署名活動に取り組んでいる。
	大澤 新之介（おおさわ しんのすけ） 第23代高校生平和大使。鎮西学院高校3年。 2年前に被爆者である私の曾祖母が他界しました。被爆者の高齢化の問題を直接感じ昨年、高校生平和大使に応募し今は第23代高校生平和大使として活動しています。新型コ

	<p>ロナウイルスの影響で例年行っている、スイスに署名を届けることもできませんでした。しかし、こんなご時世だからこそできる活動を考え、工夫して活動してきました。今年の1月に「核兵器禁止条約」が発効された時には私たち高校生でも盛り上げようと考え、自分の得意分野でもある動画を制作しました。全国をリレーした動画は YouTube に投稿し総再生回数は1万回を超えた大きなものとなりました。</p>
第4	<p>山川 剛（やまかわ たけし） 長崎県原爆被爆教職員の会 1936年長崎生まれ。小学校教員を36年間勤め、1980年にユネスコ「軍縮教育世界会議」に参加。著書に『センセイ、ハタアル？』、『私の平和教育覚書』、『希望の平和学』、『被爆体験の継承』など。</p>
第4	<p>西岡 由香（にしおか ゆか） 1965年生まれ。漫画家。ピースボート乗船をきっかけに平和活動を始める。原爆や長崎の歴史をテーマにした漫画を執筆し、2015年、「被爆マリアの祈り—漫画で読む三人の被爆証言」で平和・協同ジャーナリスト基金賞特別賞を受賞。著書に「夏の残像」（凱風社）、「愛のひと ド・ロ神父の生涯」、「愛のまち 漫画で読む長崎キリストian史」（長崎文献社）など。週刊金曜日で4コママンガ「さらん日記」を連載中。</p>

原水禁大会／長崎 資料

川崎哲



pbglobal@peaceboat.gr.jp

1

核不拡散条約 (NPT)



- 1970 発効
- 核兵器国 5カ国
米・口・英・仏・中
- 非核兵器国 186カ国
- 非核兵器国は核を持たない(不拡散)
- かわりに核兵器国は核軍縮する(NPT第6条)

3

核兵器禁止条約 (2017)

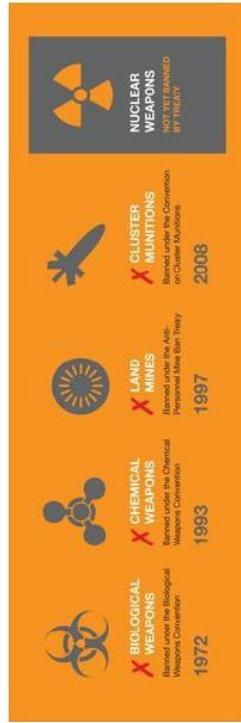
核兵器を非人道的な兵器として

全面的かつ完全に禁止し

核兵器の廃絶への道筋を定め

核被害者への援助を定めた条約

2



1972 生物兵器 禁止条約	1993 化学兵器 禁止条約	1997 対人地雷 禁止条約	2008 クラスター弾 禁止条約	2017 核兵器 禁止条約
-------------------	-------------------	-------------------	---------------------	------------------

4

第一回締約国会議へ

想定される議論

1. 条約の普遍化
2. 禁止事項の解釈
3. 核保有国の加入
4. 被害者援助と環境回復

市民社会の取り組み

5

7

第1条(禁止)

締約国は、いかなる場合も以下のことを行わない、

- a) 核兵器の開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵
- b, c) 核兵器やその管理の移譲(直接、間接)
- d) 核兵器の使用、使用するとの威嚇
- e, f) これらの行為をいかなる形でも援助、要請、勧誘すること
- g) 自国内に配置、設置、配備

6

核保有国の加入に向けて

核兵器禁止条約 廃棄に関する条項

第2条(申告)

核を「持っていたが廃棄した」か、「持っている」か、「他国の核を置いている」か30日以内に申告

第3条(保障措置)

IAEA保障措置(包括的保障措置)を最低限維持

●申告の方法

●解体の期限

●国際機関

●検証下で期限のついた不可逆的な核廃棄

参考:核軍縮検証のための国際パートナーシップ(IPNDV)

核軍縮検証のための国連・政府専門家グループ(GGE)

8

7

核兵器禁止条約 被害者援助

第5条(国内履行措置)

第6条(被害者援助と環境回復)

- ・核兵器の使用・実験で被害を受けた人々に医療的・社会的・経済的援助を行う義務
- ・核兵器の使用・実験に関連する活動で汚染された環境を回復する義務

第7条(国際協力と援助)

核兵器を使用・実験した国の援助責任

参考:2014年に専門家委員会による「核兵器使用の多方面における影響」に関する調査研究」

9

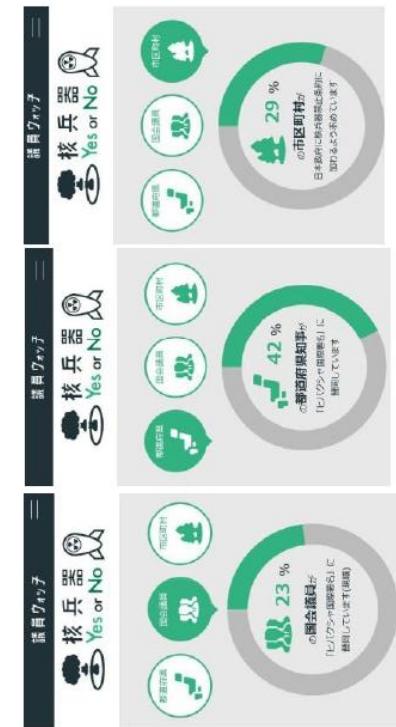
8

議員ウォッチ



<https://gjiinwatch.jp>

10



11



潘基文
元国連事務総長ら
56名の公開書簡
2020.9.21

核の傘下国の元首脳・外相ら
が、これらの政府に核兵器禁
止条約への加入を求める

12



世界190カ国で
被爆証言会を
ピースポート
おりづるプロジェクト・オンライン
2020-21

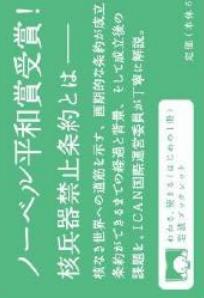


14



pbglobal@peaceboat.gr.jp

新版
核兵器を禁止する
条約が世界を変える
川崎 哲



15



ICAN ピンバッジ・ワッペン
<https://hibakushaglobal.net/related-goods>

13

奏で継ぐヒロシマ
～被爆を生き抜いた2つの楽器～
<https://peaceboat.org/38072.html>



15



9

私(ヒバクシャ)の核兵器廃絶運動

原水禁共同議長 川野 浩一

1、あの日から76年、長崎市の被爆者の生存者は3万人を切り、被爆者の平均年齢は84歳となった。長崎の被爆者5団体のトップもこの数年で4人が亡くなつた。被爆者に残された時間はない。(2017年版では被爆者の平均年齢は81, 01歳、被爆者健康手帳の交付者数は30, 813人であった。1974年が最多で、83、289人)

2、私たちの願いは・・「核も戦争もない世界を」であり、悲惨な歴史は、「3たび繰り返さない」が、メイン・スローガンであった。・・それは、みずからの体験に基づくものもある。

3、私の戦争体験・被爆体験・生まれは北朝鮮平安北道、父は現地の警察官であったが、召集により、1歳9月の時に長崎へ帰郷。5歳の時に爆心地から3, 1kmのところで被爆。幸い怪我はなし。

4、戦時の長崎・・空襲5回・・総数136機によって死者・行方不明者387名、負傷者595人、損壊家屋559戸。

家屋疎開・・防火地帯・・県庁周辺を始め重要な建物周辺は、家屋を強制的に撤去された。中島川両岸の家屋も撤去され50mほどの防火帯が作られた。

5、核兵器禁止条約へ向けて

原水禁国際交流調査団・・94年5月

故伊藤市長が95年11月7日、国際司法裁判所で黒焦げの少年、谷崎昭治さんの写真を掲げ陳述・・(外務省は勝手なことはしゃべるなど妨害したが、幸いなことに村山政権であった。)

国際司法裁判所・・96年7月8日・・違反するが・・自衛のため・・結論は出せない。・・原則的には違反する。

6、「あなたは、どこの国の総理ですか」、2017年8月9日に迫る
長崎の被爆者5団体の取り組みで、毎年、政府要望書を提出している。

その中で、安倍総理に、「橋渡し?・・何を橋渡しするのか?・」20年以上前に国連で聞いたことがある、

我が国は核兵器禁止条約に賛同するとともに、「北東アジアの非核兵器地帯構想に着手せよ」と、迫ってきた。・・今年は私が菅総理へ説明

7、原爆資料館へ足を運ばない我が国の政治家・・長崎の原爆資料館に総理を始め、閣僚は誰一人来たことがないが、それにも関わらず、海外に向けては、ぜひ広島、長崎を訪問して欲しいとは言う。広島、長崎の、どこに行って欲しいというのだろう。

私の被爆体験

早いもので「あの日」から 76 年が経過しようとしている。当時 5 歳だった私も 81 歳、近年、長崎の被爆者 5 団体のトップは次々なくなり、発足時から残っているのは私だけとなった。

自治労長崎県職員組合の青年部長時代から原水禁運動に関わってきたが、退職後も微力ながら、長崎県平和運動センター被爆連議長、原水禁議長と延べ半世紀以上もこの運動に関わってきている。

生まれは、北朝鮮の最北部、中国との国境近くの平安北道、ここで父は警察官をしていた。警察官と言っても、主な任務は鴨緑江を渡ってくる匪賊（ゲリラ）への対応が主な任務で、軍隊とあまり変わりなかったようだ。晩年、酔うとその頃の話を独り言のように、「夏は良かったなあ。そんかし、冬は河の凍って、匪賊の馬橇でくるもんやけん、命懸けやった。電信柱には生首のよう、ぶら下がつとった。畠にわっか（若い）男のおるぞというと、兎ば捕まえるごと、網ば張って捕まえよった」。こんな危ない話になってくると、いつも母が「やめんね、そんげん話は」と遮った。いつしか私は「加害者の子」を意識するようになった。

私が 1 歳 9 月の時、父が兵隊に取られたため、母方の実家を頼って長崎に引き上げてくる。

あの日、1945 年 8 月 9 日は、長崎は朝から良く晴れていた。午前 11 時 2 分、ようやく警報が解除され、私は家の前の防火用水を背に、近所の子と遠くから聞こえるヒコーキ音を「友軍機やろ」と言って機影を探していた。と、その時、その子が気が狂ったように走りだしたところまでは覚えているが、ピカもドンも私は記憶がない。気がつくと 15 m ほど離れたところに倒れていた。脇にいた近所の中学生は額から血を流しており、私はその血を浴びていた。上空には B29 が旋回しているのが見えたので、近くの防空壕に逃げ込んだ。壕内では近所のおばちゃんたちが、「どけ、爆弾は落ちたとやろか」と大騒ぎしていたが、男の人が「こら、広島に落とされた新型爆弾ばい」と言った途端、壕内は静まりかえった。広島の情報は知れ渡っていたのだ。母が迎えに来てくれ、我が家家の防空壕に移ったが、幸い家族は皆無事だった。

しばらくすると、祖母が防空壕の入口から「子供たちは外に出すな」と叫ぶ。爆心地の方から大怪我された人たちがぞろぞろと・・祖母は私たちに見せてはいけないと思ったのだろう。まもなく山手の防空壕に避難命令が出、外に出てみると長崎駅の方は赤黒い猛烈な火炎が上がっており、道は避難する人でごった返していた。その夜、山の上から長崎の街が延々と燃える情景を多勢の人が見ていたが、誰ひとり言葉を発する人はいなかった。8 月 15 日、「日本は負けたぞう」と叫びながら中学生が上がってきた。壕から出てきた人たちは彼を囲んで騒いでいたが、しばらくすると、みんな無言で山を降りた。家は無事だった。寝る前にどうしても気になることがあった。枕元の破れたバケツに入っている消し炭のようなもの・・祖母に尋ねると「浦上のおばあちゃんよ」と教えてくれた。「街は危ないから浦上に来い」と盛んに言ってくれていたが、母は許さなかった。行っておれば同じ運命だが、原爆の投下目標地は街の中心地、目標通り投下されていたなら・・私は骨ものこっていまい。運命とはわからないものだ。

・原水禁の初代議長森瀧一郎さんに最初にお目にかかったのは、1987 年 9 月 26 日から 10 月 3 日まで、ニューヨークで開かれた第 1 回核被害者大会。この大会はヒロシマ・ナガサキをはじめ世界各地の核被害者が一堂に会し、核被害の阻止と補償を確立しようとするものだった。この時、森瀧さんがおっしゃった「小さきものは美しきかな」という言葉は今でも覚えている。そして、我々原爆被害者だけが

核被害者ではないことを思い知らされた。

・ 1994年5月8日から13日まで、原水禁は欧州へ国際交流調査団を派遣したが、スイス・ジュネーブで現地NGOの方から来年の国際司法裁判所の裁判に長崎市長を証人として出席させて欲しいと頼まれた。当時の市長は本島等さん、彼は市議会で「天皇に戦争責任がある」と発言したことから右翼に銃撃され重症を負いながらも命を取り留める。しかし、その後24時間警察の警護がついていたので、多分無理だと思いながらも、帰国後、その旨市長に伝えたところ、本人は乗り気で、行く気満々だったが、次の選挙であえなく落選、代わりに当選した伊藤市長が出廷することになった。

出発直前、市長から「外務省から制約がかかり、発言ができない。これでは行ってもお役に立てない」とのSOS。ラッキーなことに当時は村山政権、外務省を抑えてもらい、「黒焦げの少年・谷崎昭治さん」の写真を掲げ、長崎市長らしい証言ができた。その後96年7月8日、「原則的には違反する」との判決。

この判決から11年後の2017年7月7日、国連で核兵器禁止条約が、122カ国の賛成で可決されることになるが、その一翼を故伊藤市長は果たされたのではないかと思う。

2017年8月9日、長崎の被爆者5団体は要望書を安倍首相に手渡しますが、たまたま、私が渡すことになっていた。「世界で唯一の戦争被爆国」と称しながら、賛同もしない、私は素直に要望書を首相に手渡す気にはなれませんでした。私の口から出たのは「総理、あなたはどこの国の総理ですか」でした。そして、「私たち被爆者はこの72年間、子や孫のために、いやすべての人にあのような苦しみを味あわせてはならないと・・・、核兵器禁止条約に賛同してください。そして、北東アジアの非核兵器地帯構想を実現しようではありませんか、私たちもお手伝いします。」と付け加えた。首相の顔は怒りのためか少し赤らんで見えました。

川野浩一プロフィール

1940年1月7日、北朝鮮平安北道で生まれる

1941年9月、父応召のため、長崎に帰国

1945年8月9日、3, 1kmのところで被爆

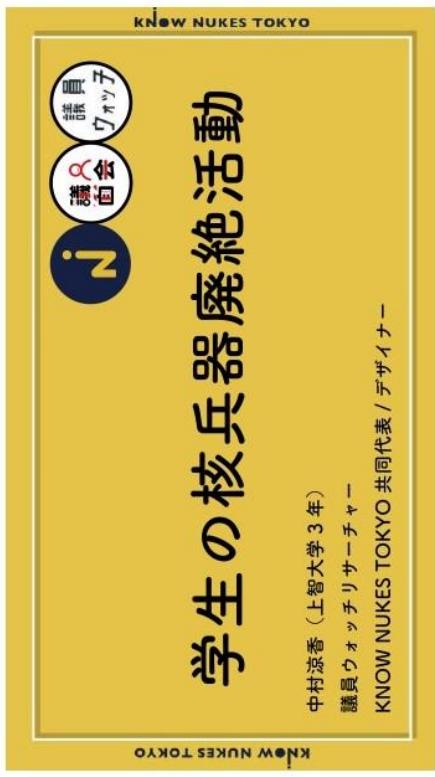
1961年4月、長崎県庁に入職。その後組合活動

1995年～自治労長崎県本部委員長

1996年～長崎県連合会長

2003年～長崎県平和運動センター被爆連議長

2009年～原水禁国民会議議長（21年から共同議長）



1



2



8



4



6



8



5



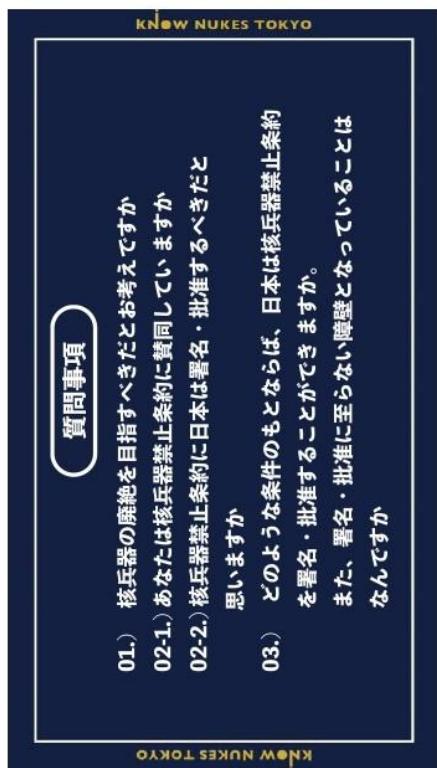
7



10



12



9



15



14

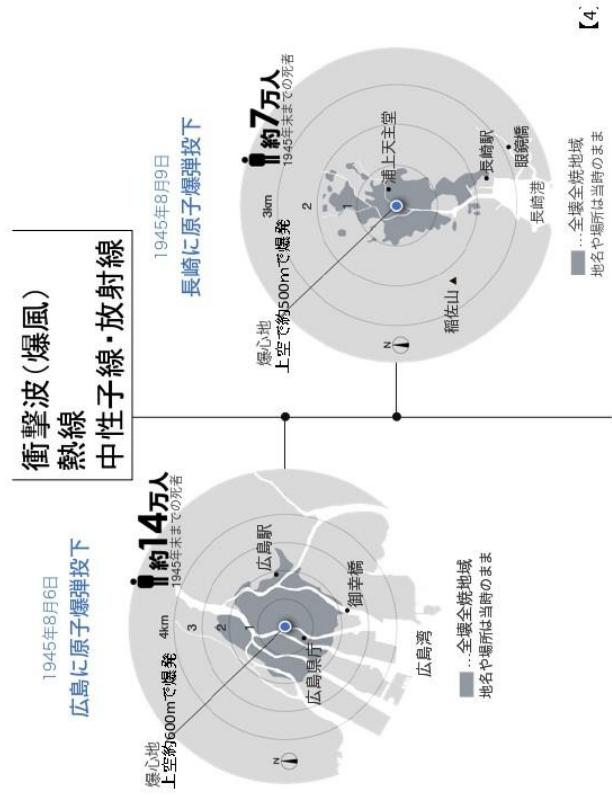
15

13

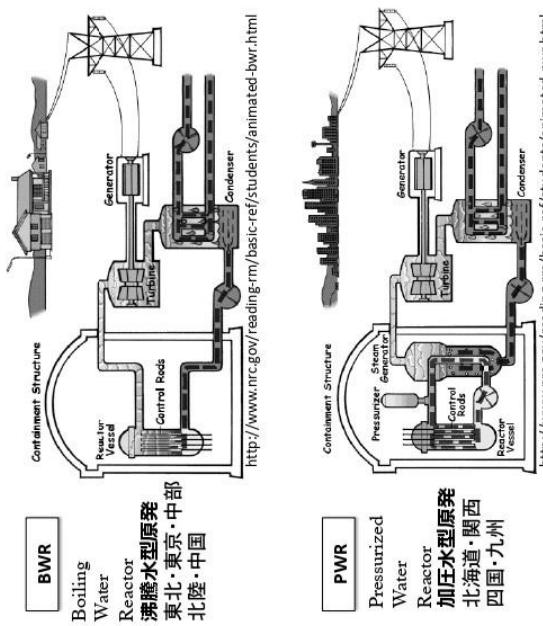
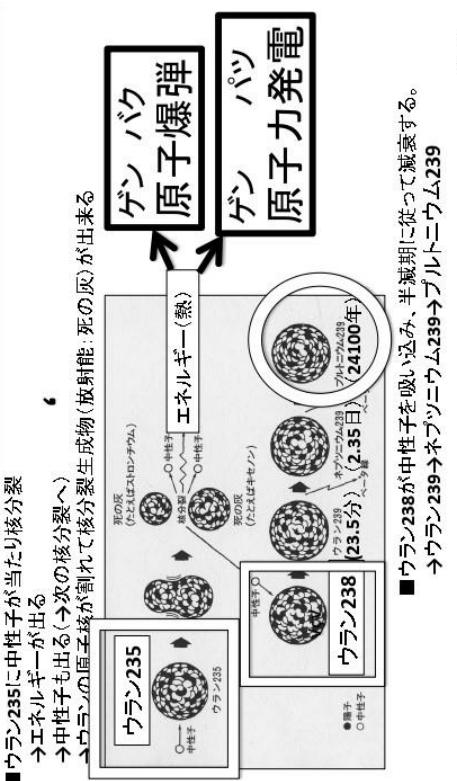
15

核燃料サイクル政策の破綻
-なぜ日本は決断しないのか-

2021/8/8
被爆76周年原水爆禁止世界大会
長崎大会・第2分科会
澤井正子（核燃サイクル阻止一万人訴訟原告団）

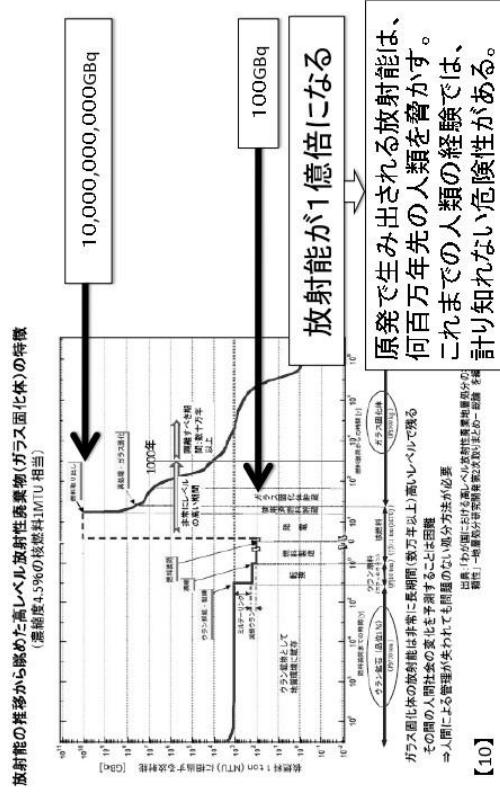


ウラン の核分裂とプルトニウムの生成 —原発の中で起こっていること—



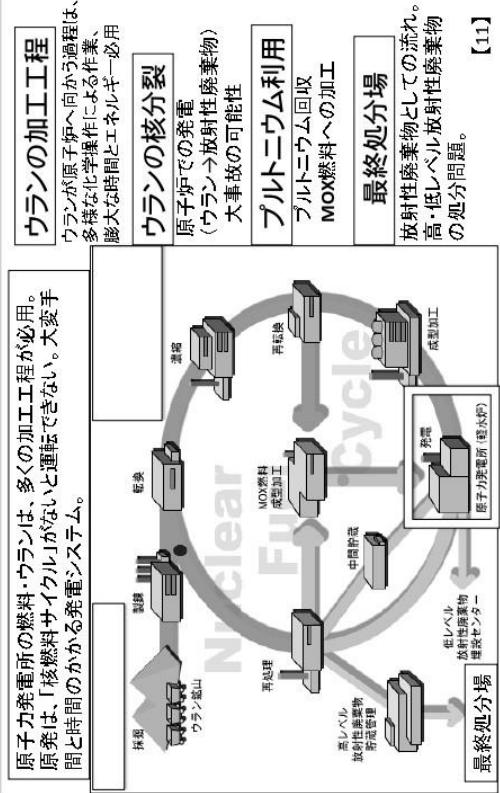
原子力発電は放射能製造装置(100万kW級原発を1年間運転した場合)		
放射能の種類	半減期	炉心に含まれる量 (1000兆ベクレル)
クリプトン85	10.7年	22
ストロンチウム89	50.5日	4,100
ストロンチウム90	28.3年	190
ジルコニウム95	64日	5,900
ニオブ95	35日	5,900
ルテニウム103	39.3日	3,700
ルテニウム106	372日	700
ヨウ素131	8.0日	3,100
テルル132	3.26日	4,400
キセノン133	5.24日	6,300
セシウム134	2.1年	63
セシウム137	30年	210
ゼリウム144	285日	4,100
ブルトニウム238	33年	3.7
ブルトニウム239	24100年	0.37
ネプツニウム239	2.36日	61,000
アメリカウム241	432年	0.063
コバルト58	71.0日	29
コバルト60	5.3年	11
その他を含めた合計		180,000
		約1700兆倍
[9]		

放射能・放射性廃棄物の時間的広がり



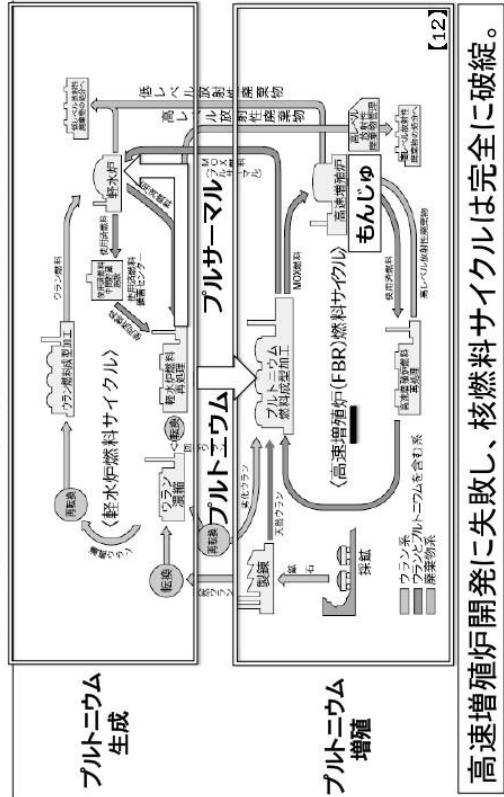
核燃料サイクルとは：日本の場合

—ウラン・ブルトニウムなど後物質の旅する道筋—



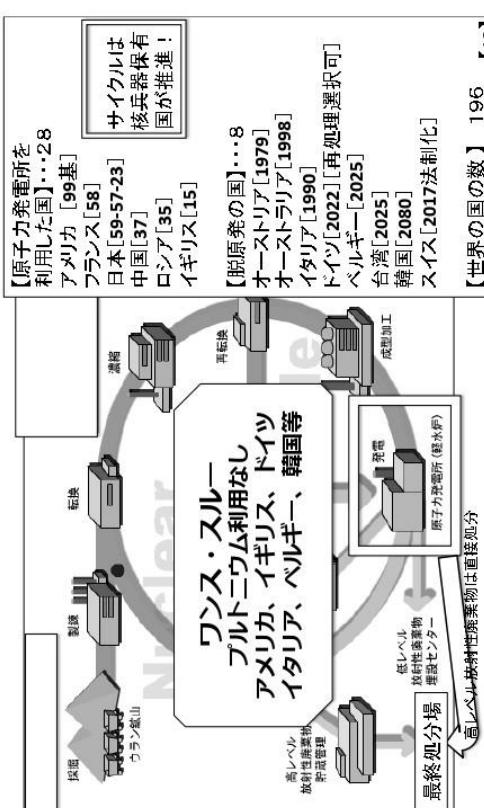
日本の原子力政策

ブルトニウム利用計画:原発の使用済み燃料からブルトニウムとして利用する。



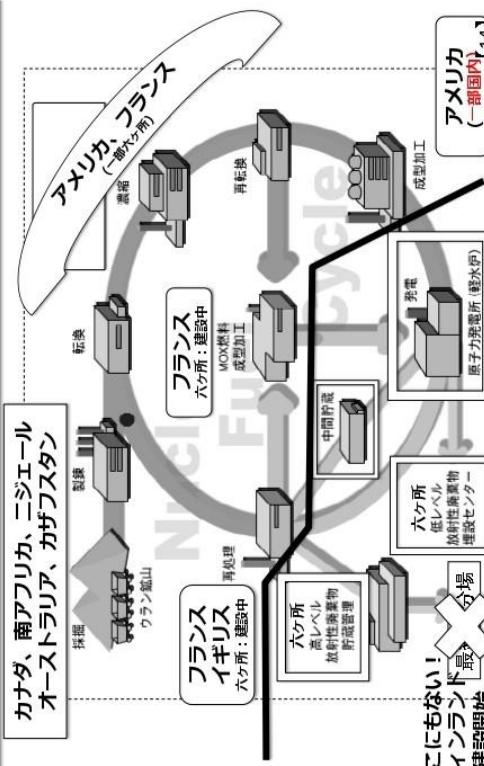
「ファンス・スルーパー」
トニウム利用しない国が多數(商業利用)

—ペルトニウム利用しない国が多数(商業利用と軍事利用の分離)——



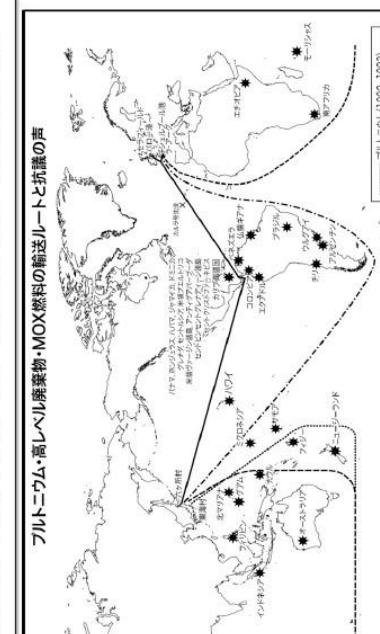
日本の核燃料サイクルの問題 —日本の核物質・放射性廃棄物が世界をめぐる—

—日本の核物質・放射性廃棄物が世界をめぐる—

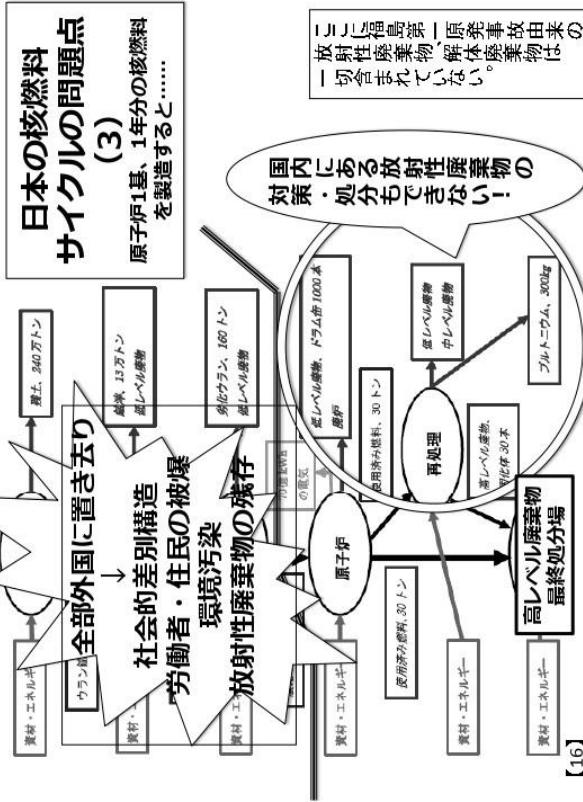


日本の核燃料サイクルの問題点(2)

モック燃料の輸送



日本の原子力発電のために、大量の放射能・放射性廃棄物が各施設間、世界中の海に広がる事故の危険性、環境汚染等、これほどコストのかかるべきだらうか？





青森県の核施設と六ヶ所核燃料サイクル基地



六ヶ所核燃料サイクル施設の問題点

- ・ブルトニウムは必要ない…高濃増殖炉開発の失敗。ブルサーマルの壊滅
- 日本の保有ブルトームは約45.5トン
(国内約8.9t、国外約36.6t)
- 余剰ブルトニウム対策が必要となっている。
- ・危険性…膨大な放射性物質の集中
- 再処理工場: 使用済み燃料3000トン(原発約30基分)
　海外運送廃棄物センター: ガラス固化体1830本
　日常的な放射能放出(再処理工場)
- 事故時の放射能被害は甚大(臨界・火災爆発・漏えい他)
　労働者の被曝事故
　・施設の運転によって放射性廃棄物を増やす(廃棄物問題をより複雑・困難にする)
　・膨大なコスト問題(再処理工場約13兆円、バックエンド費用約20兆円)
　→汚染世代にわたる国民的負担
- ・地域社会への影響(社会的)
- ・核拡散問題(ブルトニウムは核兵器の材料→日本の核武装への懸念)

何故日本は決断しないのか

- 核燃料サイクル問題とは、放射性廃棄物問題である。サイクルは最初から破綻しており、今日でも“トイレなきマンション”状態である。
- ブルトニウム利用＝再処理工場は、廃棄物問題の先送り、時間稼ぎのための施設。その稼働を合理化する理由は、何もない。
- 政府・電力会社の本音は、核燃料サイクル施設ではなく“ゴミ捨て場”としての六ヶ所の存在。(安全性、必要性、経済性など、関係ない！)
- 原発運転廃棄物、今後の原発解体廃棄物、福島第一原発事故の放射性廃棄物など、原子力発電利用によって発生するあらゆる廃棄物の処分場として六ヶ所がねらわれている。
- 過疎地域に「原発のゴミ」をおしつけようとする構造は、今、北海道であらたに画策されている(寿都町・神恵内村)。
- 1日も早く原発の運転を止め、脱原発を実現すべき。
- それでも、放射性廃棄物問題は残ります！！！

【24】

【23】

川内 20 年稼働延長を考える!

稼働 40 年を迎える原発

川内原発は稼働し始めてから、1号機が 2024 年・2号機が 2025 年に 40 年を迎えます。原則原発の使用期間は 40 年ですが、電力会社が申請することで、1 回だけ 20 年間延長することが出来ます。



大型工事と 20 年延長

川内原発では、特別重要事故等対処施設（特重施設）の建設が進められています。川内原発は特重施設の設置を条件に再稼働が原子力規制委員会に再稼働が承認されましたが、施設の完成の遅れから川内原発は、1号機が 2021 年 3 月・2号機が 5 月から特別点検という名目で稼働停止しました。しかし、24 時間体制の突貫工事で、1号機は予定より 1 カ月前倒しして 7 月 17 日に再稼働させました。2号機は 12 月の予定です。この工事の費用は 2,420 億円となり、回収したい九州電力が 20 年稼働延長を目論んでいることは明らかです。※特重施設は、テロなどによって中央制御室が機能不全になったとき代わって原子炉をコントロールする施設ですが、航空機やミサイルからの攻撃を防御するものではありません。破壊された原子炉を人類が制御できないことは、福島の実際が示しています。



工事中の川内原発



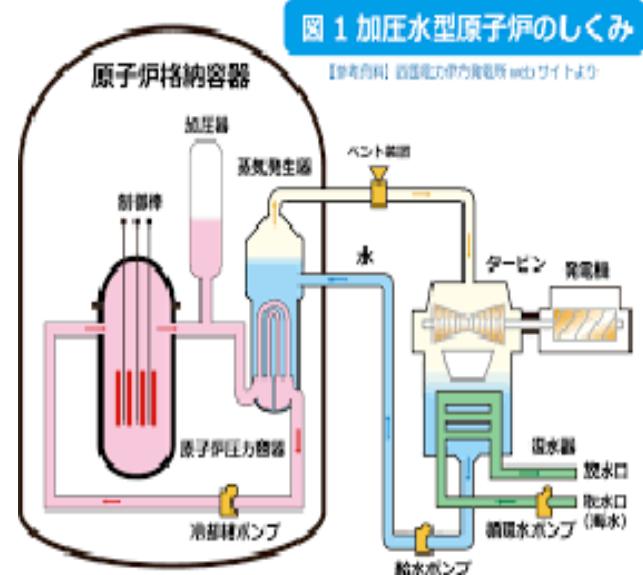
盛り土：資材置き場としているが、3号機建設予定地に位置する

40 年間稼働すること

原子炉内は中性子が飛び交っています。40 年間中性子を浴び続けた鋼鉄は大変もろくなっています。（中性子照射脆化）原子炉以外の施設は交換が出来ますが、原子炉は交換出来ません。交換できない原子炉を 60 年使い続けることは大変危険です。

20 年延長したアメリカの原発でも、様々なアクシデントで延長の途中で稼働を停止しています。原子炉は長く使い続けることで、原子炉容器が破壊され炉心溶融事故に至る危険性が高まります。

私たちは、脆くなつた交換できない原子炉を、あと 20 年使い続けることに、反対しています。



「原発無くても電気は足りてる！」一繰り返される出力「調整」

電力会社は、電力の固定価格買取制度によって、一般家庭や事業者から電力を購入するよう義務づけられています。

しかし、2015年1月の固定価格買取制度改正によって出力制御の制約が外れました。

2018年10月、九州電力は始めての出力制御を行いました。

その後も出力調整を60回も繰り返しました。出力制御の理由を「太陽光発電等再生可能自然エネルギーが急激に増加によって、系統に接続し続ければ需要を供給が上回る」としています。瀬領すべきは、自然エネルギー発電による電気ではなく原発発電の電気です。

※出力制御とは、電力会社から発電設備に対し、パワコンからの出力を停止または減らすよう要請して、発電設備からの出力をコントロールすることです。九電は「制御」ではなく「調整」という言葉を使っています。

増える放射性廃棄物と破綻した核燃料サイクル

稼働し続けることは使用済み燃料をはじめとする放射性廃棄物を生み出し続けることです。放射能のレベルによって処理方法は異なりますが、低レベルの廃棄物は固体化され、現在は青森県六ヶ所村にある低レベル放射性廃棄物埋設センターに保管されていますが、このセンターは中間貯蔵施設であり最終処分所ではありません。

使用済み核燃料は一旦原発内の貯蔵プールに保管され、冷却後六カ所再処理工場でガラス固化体にして地下300メートルで10万年保管することになっています。(川内原発のプールもあと10年もしないうちに満杯)しかし、全国どこにも受け入れ地はありません。また、再処理工場は1997年に運転開始予定でしたが、トラブルから20回延長され2021年の今でも運転しません。取り出した plutonium を使う計画の高速増殖炉『もんじゅ』も廃炉になっています。

核燃料サイクルは完全に破綻している中で稼働を続けることは処理できない廃棄物を増やし続けることです。

20年稼働延長をすること

☆福島と同じような原発事故が起きることを許すということは、

「いつ事故が発生するのか」という不安の中で生活し続けることです。

☆核燃料サイクルが破綻した中で、使用済み燃料などの放射性廃棄物を出し続けることは、

「原発の負の遺産」を子や孫に押しつけることになります。

☆再生可能自然エネルギーなどへの転換を訴えることは、

世界の流れ「脱原発」を、推進することです。

☆電力の大量生産・大量消費を続けることは、

持続可能エネルギーを進める世界の流れに逆行することです。

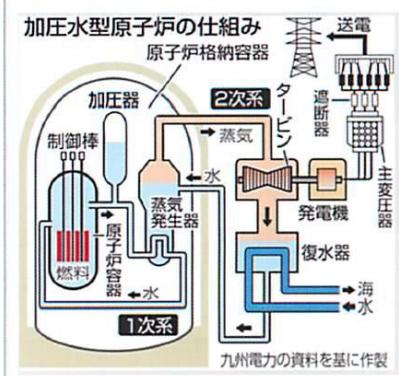
私たちは、福島原発事故以降、原発ゼロの生活を経験しました。

「原発が無くても電力は、足りています！」

川内原発の20年稼働の延長は、必要ありません。

川内原発 20年延長を 考える

学習資料



パリ協定、世界は自然エネルギー100%が目標

日本は原発再稼働、世界の潮流逆行する

- 国連の国際会議COP21が2015年12月にパリで開催され、2020以降の気候変動対策の国際的な法的枠組み「パリ協定」に世界各国が合意した

- COP21で表明された数々の団体、自治体や企業などのイニシアチブにより、**再生エネルギー100%への動きが世界中で大進歩をうながしている**

「パリ協定」の概要

- 气温上昇抑制目標を実現に入れ2°C未満を目指す
- 1.5°C、2°C未満の長期目標に向けて、10年内に排出量や適切の行動をとることごとに評議し算出するガイドラインを策定し、各國が国内規制を実施
- 途上国が技術移転、能力強化を図り、排出削減や適切の行動を取るための資金を今まで以上に確保する道を開いた

20年延長申請期限

1号機が 2023年7月

2号機が 2024年11月まで

市民団体；鹿児島県川内原発20年延長を考える会

大坪 满寿子 61 無所属 現②
主婦、南大隅を愛する会代表
(協業組合職員)
南大隅高卒、根占川南

津崎 淳子 57 無所属 現②
看護師、医療法人理事、川崎医科大学付属看護専門学校卒、根占川北

△南大隅町議選開票結果
(18日午後10時52分、選管最終)
(定数12-13、得票順)

564	上之園健三	61	無新
495	大坪満寿子	61	無現
450	木佐貴徳和	67	無現
431	浪瀬 敦郎	74	無現
413	幸福 恵吾	42	無現
378	津崎 淳子	57	無現
354	松元 勇治	61	無現
346	大村 明雄	68	無現
340	平瀬 十助	61	無現
314	森田 重義	52	無現
287	後藤 道子	57	無現
246	日高 康秀	79	無現
53	石塚	50	無新

南大隅町長に石畠氏

元町課長 核ごみ反対 初当選

2021年(令和3年)4月19日

月曜日

南



南大隅町長選

核ごみ処分場「ノ」

石畠さん「1次産業に全力」

原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)最終処分場誘致の是非が争点になった

18日投開票の南大隅町長選は、誘致に反対し

午後9時すぎ、投票所に近づいた石畠さんの事務

所に当選の一報が入る。元衆院議員秘書の田中慧さん(38)との争いを

制した。過去にも取り

沙汰された処分場問題に有権者は「ノ」

を突き付けた。

(1面参照)

午後9時すぎ、投票所に近づいた石畠さんの事務

所に当選の一報が入る。元衆院議員秘書の田中慧さん(38)との争いを

制した。過去にも取り

沙汰された処分場問題に有権者は「ノ」

を突き付けた。

一方、処分場誘致を公約に掲げ、国調査を受け入れによる交付金

を突き付けた。

(藤嶋慎一撮影)

午後9時すぎ、投票所に近づいた石畠さんの事務

所に当選の一報が入る。元衆院議員秘書の田中慧さん(38)との争いを

制した。過去にも取り

沙汰された処分場問題に有権者は「ノ」

で、多くの町民が心配していた。まちの未来を考えれば、誘致はとんでもない。処分場はいらない」ときつぱり。

一方、処分場誘致を公約に掲げ、国調査を受け入れによる交付金を突き付けた。

一方、処分場誘致を公約に掲げ、国調査を受け入れによる交付金

を突き付けた。

一方、処分場誘致を公約に掲げ

2021年8月8日
原水爆禁止佐賀県協議会
事務局長 宮島 正明

玄海原子力発電所をめぐる状況について

(1) 九州電力玄海原子力発電所の概要

	炉型	電気出力	運転開始	備考
1号機	PWR	55.9万kw	1975年10月15日	2015年4月27日運転終了
2号機	PWR	55.9万kw	1981年3月30日	2019年4月9日運転終了
3号機	PWR	118.0万kw	1994年3月18日	ブルサーマル運転
4号機	PWR	118.0万kw	1997年7月25日	

※2011年3月11日の東日本大震災・福島原発事故後、長期間停止していた。神戸製鋼グループの検査データ改ざん問題などにより、当初より数か月遅れたが、3号機は2018年3月、4号機は同年6月にそれぞれ再稼働した。

(2) 特定重大事故等対処施設（テロ対策施設）について

- ①設置期限 3号機 2022年8月24日(認可2017年8月25日から5年)
4号機 2022年9月13日(認可2017年9月14日から5年)

②現在の状況

2020年8月26日、原子力規制委員会は九州電力が3分割して申請していた工事計画について、3分割目の計画を認可した。これで2019年11月の1分割目、2020年3月の2分割目に続いてすべての項目が認可された。現在はすべての工程において着工しているが、工事請負会社社員が新型コロナウィルスに感染する事例が複数発生しており、期限に間に合うかは不透明。九州電力は、新型コロナウィルスワクチンの職域接種を7月から行うと発表した。

(3) 3号機からの使用済みMOX燃料の取り出し

2020年11月18日、九州電力は玄海3号機の定期検査終了に伴い、MOX燃料36体のうち16体を「使用済み」としたと発表した。使用済みMOX燃料の取り出しは九州電力では初めてとなるが、当面は敷地内の使用済み燃料プールで保管するとしている。国が使用済みMOXをどうするのか明らかにしておらず、長期保管につながるのではないかと懸念される。

(4) リラッキングと乾式貯蔵施設の建設

①リラッキングについて

2019年11月、九電が規制委に工事計画認可の申請を提出し、県や玄海町は判断の準備を進めていたが、2020年9月1日、佐賀県と玄海町は計画について事前了解した。リラッキングでは、使用済み核燃料を収納する容器の中心の間隔を36センチから28センチに詰め、プールに貯蔵できる容量を増やすことで、貯蔵容量が約1.6倍になり、今後10年程度は貯蔵できるとしている。工事は2020年12月下旬に着工し、2024年の完了が予定され、工事費は約70億円が見込まれているが、こちらも(特定重大事故等対処施設と同様に)請負会社の作業員が新型コロナ

ウイルスに感染し、クラスターが発生するなどして工事が中断された期間もあり、計画通りに進むかは不透明な状況。

②乾式貯蔵施設の建設について

2020年3月27日に原子力規制委員会が了承し、その後原子力委員会や経済産業相に意見聴取が行われ、今年4月28日に正式に許可された。乾式貯蔵施設は、使用済み核燃料を特殊な金属容器(キャスク)に入れて空気の流れで冷却するもので、九電は玄海原発の正門近くに整備し、2027年度に運用を始めるとしている。工事費は約290億円を見込んでいる。このリラッキンと乾式貯蔵施設の併用で、稼働年数が約14年延びるとしている。

(5) 40年超運転について

玄海3号機は2034年、4号機は2037年に運転開始から40年をむかえる。一方、同じ九州電力の川内原発1、2号機は2024年と2025年にそれぞれ40年をむかえ、その動向が注目される。九電の池辺和弘社長は4月28日の記者会見で、「運転延長についてはまだ何も決めていない」としながらも、「(運転延長の可否を)判断するために、原子炉の健全性を確認したい。結果を見てから決断する」と述べている。昨年12月には、「1年前にならなければ、絶対に申請しないということではない」と前倒しを示唆しており、運転延長に意欲を見せている。

この間、九電は川内原発・玄海原発の「特定重大事故等対処施設」などの安全対策に総額4千数百億円を投じていることを考えれば、運転延長の申請は確実ではないかとみられる。

(6) 裁判闘争について

県内で反原発・脱原発運動にとりくむ市民団体が2011年に提訴した2つの裁判(行政訴訟・被告=国、全基差し止め訴訟・被告=九電)について、2021年3月12日に佐賀地裁で判決が言い渡され、いずれも市民の申し立てを棄却し、特に行政訴訟では、玄海原発から100キロ圏外の住民を「原告適格が認められない」として却下した。原発事故が起きれば、極めて広範囲に被害が及ぶという、福島原発事故の教訓が全く反映されていない判決であり、到底容認できない。

また、原発の安全基準は、想定される最大地震動(基準地震動)の策定にあたって経験式の算出した数値は平均値であるから平均値を上回る地震規模を想定して、「経験式が有するばらつき」を考慮すべきことを定めているにもかかわらず、九州電力はこれを無視して基準地震動を定め、国はこれを容認した。昨年12月4日、大阪地方裁判所は、関西電力の大飯原子力発電所に関する判決において、「経験式が有するばらつき」の考慮がなされていないことをもって設置許可処分を取り消した。佐賀地方裁判所はこの大阪地裁の判決を知りながら、あえて、国や九州電力の主張をそのまま取り入れ、住民の安全性をないがしろにした極めて不当な判決であると言わざるを得ない。※3月25日、原告は福岡高裁へ控訴

(7) 玄海町長の金銭授受問題

2020年1月22日、脇山伸太郎玄海町長が原発関連企業の株式会社塩浜工業(福井県敦賀市觀音町)の関係者から、現金100万円を受領していたことが発覚した。脇山町長は、現金を受け取ってから1年5か月も経ってから、しかも関西電力の原発マネー還流問題が発覚し、塩浜工業の名前が世間に出てはじめて返還したと述べている。関電の問題が発覚しなければ、返還し

ないままだったのではないか。

また、現金を持参してきた塩浜工業の役職員 2 名と脇山町長の代理として現金を同社に返却したとされる人物 1 名のいずれもが、すでに故人となっていることも非常に不可解である。

しかし同年 2 月 3 日、記者会見で脇山玄海町長は続投を表明し、「辞任すべきという声は間接的にも聞かなかった」と発言、県内外の原発問題にとりくむ 16 団体が提出した「緊急要請質問書」に対しても「既に説明責任は果たした」と回答し、新たに説明する場を持つ考えがないとした。

このように説明責任を果たさない脇山町長に対して、政治資金規正法違反として弁護士の助言の下、同年 4 月 22 日に告発人 455 名の署名とともに、佐賀地方検察庁へ告発状を提出した。その後 7 月 9 日に、佐賀地方検察庁から「告発事実の一部について、該当する条文が一致しないのではないか」との指摘があり、弁護士を交えて検討したうえで 8 月 18 日に該当箇所の補正書を提出し、さらに告発状修正版を 8 月 21 日に提出した。後日さらに修正要請があり、11 月 16 日に再度提出し、2021 年 1 月 21 日、正式受理となった。

その後、佐賀地方検察庁により脇山町長を含む関係者への聴取などが行われたが、2021 年 6 月 22 日、地検は「収集した証拠を総合的に検討した結果、告発事実を認定するに足りる証拠が認められなかった」として、不起訴処分とした。現在、検察審査会への審査申し立てをするか検討中。

(8) 避難計画と原子力防災訓練

①避難計画について

佐賀県「原子力防災の手引き」では、PAZ 内は予防的避難（安定ヨウ素剤は事前配布）、UPZ 内は、まず屋内退避、実測値で毎時 500 マイクロシーベルトを超えたら 1 日以内に避難。毎時 20 マイクロシーベルトを超えたら 1 週間以内に避難とされている。（安定ヨウ素剤は、服用が必要な場合は、自治体が定める場所で配布）

「手引き」には、【屋内にいることが安全への第一歩】があるが、エアコン、換気扇が使えない密閉空間に何日もいられるのか。また、地震等との複合災害時には、事故進展の状況により「必要な防護措置を国が判断し、指示する。」とあるが、福島原発事故時の対応をみれば、国の判断・指示を待っている余裕などなく、それぞれが自家用車で我先にと避難するので、山間部の道路が多い地形も影響し、大渋滞が起こることは想像に難くない。その結果、スクリーニングポイントでの検査等に時間がかかり、さらに避難が遅れる（福島ではスクリーニング証明書がないと避難所に入れなかつた。）

避難先施設についても、県内で 521 か所、183, 269 人が受け入れ可能としているが、施設の収容可能人数を合計しただけで、食料の備蓄やトイレ等の設備について必要十分と言えるのか。また、避難集合場所および避難所が危険区域に指定されている所もある。何より、このコロナ禍で 3 密の回避やソーシャルディスタンスの確保は避難所では事実上不可能ではないか。

離島の住民避難も課題。訓練では自衛隊護衛艦「いせ」が派遣され、ヘリで住民を運ぶ様子などが盛んに報道されたが、そもそもヘリを待つより、自分の船で逃げる漁業者が多いのではないか。

②原子力防災訓練について

毎年行われている原子力防災訓練は、参加人数が少なく、緊張感も感じられない。前夜から自衛隊が待機し、自治体の職員では訓練とはいへ防護服すら着ていない人も。住民もバスで小旅行のような感覚ではないか。学校などでは、国や県の関係者から、「原子力は安全だ」という講話をさえ行われている。

(9) 今後について

全国の動向を見れば、最近の原発裁判は、昔のように負けるのが当たり前ではなくなってきていると感じる。昨年12月4日の大阪地裁判決は、商業用原子炉の設置許可取り消し判決という日本の裁判史上初めてのものであり、今年3月18日の水戸地裁判決は、東海第二原発の避難計画の不備という新たな論点が取り上げられた画期的なものであった。また、敗訴した裁判においても、裁判所が国や電力会社に対して苦言を呈するような部分もある。他の裁判で住民側が勝訴した論点を積極的に取り入れることにより、勝機が見いだせるのではないか。

今後も、引き続き全国各地の運動団体や市民団体と連携して、脱原発の世論をさらに醸成していく必要がある。

被爆二世としての生き方を選び取る

青木 栄

1. はじめに 熊本被爆二世・三世の会の活動紹介

2. 父の被爆体験 ～高校生に話してきたこと、小学生に対して今話していること～

(1) 被爆体験を語り継ぐことの意味

- ①二度と繰り返さないための大きな力となってきたという事実
- ②自分の事、現在の事と重ねて考えることの大切さ
 - 黒焦げの少年の写真から・・家族のもとに帰れなかつた数多くの方たちのこと
 - 「はだしのゲン」・・体だけでなく心にも深い傷を残す原爆被害の非人道性

(2) 三度の命拾い ～父の体験

- ①爆風で吹き飛ばされて海に落ちたこと ～一人だけ生き残った体験～
- ②爆心地での死体片付け作業 ～被爆して亡くなつていった人たち～
- ③連れていかれた病院で目撃したこと ～父が語りたがらなかつたこと～
「語らないのではなく、語れなかつた」
- ④17歳で志願した特攻艇の乗組員 ～正しく知り自分の考えをもつことの大切さ～

(3) 被爆体験・戦争体験の継承において大切にすべきこと

語れない思い、語れなかつた体験こそ継承していくこと

(4) 熊本で平和活動をがんばっている若者たちの紹介

- ①お互いの思いや考えを共有し合うことの大切さ ～高校生ミーティング～
- ②体験を受信するだけでなく発信する側に ～パネルシアター作成、紙芝居上演～
- ③学生団体 La-Paix (ラペ：フランス語で平和) へと継続する活動
～身近なロールモデルの存在～

(5) 高校教員時代に大切にしていたこと ～父との出会い直しの体験を語る意味～

自分を見つめ、綴り、語ることで人と人はつながるということ

3. おわりに

被爆者から被爆二世へ・・そして三世・四世の世代への架け橋になることが私の務め

戦争加害の事実もふまえた学習の大切さ ～意義深い高校生平和大使韓国派遣～

自分事として考えられる平和学習、被爆体験の継承活動を！

熊本被爆二世・三世の会の紹介

戦時中、17歳の父は学徒動員により三菱長崎造船所に配属され、親元を離れて寮生活を送っていました。1945年8月9日午前11時2分は、爆心地から約2.3kmにある長崎駅裏の埠頭にいました。爆風に吹き飛ばされた父は左大腿部を強打して海に転落。約5時間後によく救助船に助けられました。一緒に長崎駅裏に来ていた仲間たちは10年以内に全員が白血病で亡くなり、気がつけば父親一人しか生存していなかったそうです。被爆後連れていかれた病院でのこと、1年にわたる入院生活のこと（初期放射線の影響について）は最後まで語ってくれることはませんでした。

父は、被爆後38年目（55歳）の年に胃ガンと診断され、8時間に及ぶ大手術を行い、輸血によりC型肝炎に感染。その後は、入退院を繰り返す生活になりました。23歳の時に初めて、父が長崎で被爆していたという事実を知りました。被爆者の多くは、自分の家族に被爆体験をあまり語っていません。1995年に「長崎に一緒に行って欲しい」と父を誘い、そこで初めて父の被爆体験を詳しく聞き、そして父や母の戦後の歩みを詳しく聞かせてもらいました。2002年4月に74歳で逝去。亡くなる4か月前に父は私宛に自分史を綴ったノートを残してくれました。

被爆者の高齢化（平均年齢83歳）が進行する中、2012年11月に「熊本被爆二世・三世の会」を結成しました（現在会員は70名）。きっかけは、県内の被爆二世の方との出会い、九州各県の被爆二世や被爆者の方々との出会いがあったからです。被爆体験を継承する活動としては以下のようなことをやっています。

被爆体験を継承する活動

- ①ノーモアヒバクシャ被爆体験を継承する会
- ②被爆体験の紙芝居制作・上演活動
- ③「原爆と人間パネル写真展」の開催
- ④高校生との共同行動

結成以来続けている活動が、「ノーモアヒバクシャ被爆体験を継承する会」という被爆の実相を語り継いでいく活動です。年2~3回のペースでこれまで18回にわたり開催してきたこの会では、県内外の被爆者や被爆二世から話を聴いてきました。次回は10月16日（土）に予定しています。

県内の被爆者の体験をもとに、これまで二人の体験を紙芝居にしました。これまでさまざまな場で上演を行ってきました。被爆者の方に読んでいただきたり、高校生の皆さん居分担して読んでもらっています。被爆者の体験をわかりやすく伝える方法として有効な方法と考えています。また、2014年から毎年夏に「原爆と人間（日本被団協制作）」パネル写真展（今年は8月3日～10日）を県庁新館1階ロビーにて開催しています。今年は写真展開催と合わせて紙芝居の上演も計画しています。

さらに、次世代への活動継承という点からは、若い世代の人たちの活動を支援したり、共同行動を企画することもこの間取り組んできました。特に、「核兵器廃絶と平和な世界の実現をめざす高校生1万人署名活動」に取り組む高校生には、私たちの「被爆体験を継承する会」でも活動報告をしてもらい、被爆者のお話を聴いてもらっています。また、高校生自身が戦争の悲惨さと平和の大切さを受信するだけでなく発信する側に立ち、これから継承活動を担っていくためにも、県立図書館子ども図書室とタイアップして2013年以来年年1~2回程度、「高校生による平和をかたりつぐおはなし会」という戦争や平和に関する絵本読み聞かせ、紙芝居・パネルシアター上演などを小さな子どもたちを相手に行ってもらっています。

【連絡先】熊本被爆二世・三世の会 青木 栄（熊本市中央区大江6丁目1-60-410）

TEL 090-8663-4837

『第3分科会』 レジュメ

平野伸人

1. はじめに(自己紹介にかえて)

1946年(昭和21年)12月長崎に生まれる。母が被爆者の原爆被爆2世。高校2年生の時に幼なじみの友人が白血病で亡くなるという経験をした。

大学時代には、早稲田奉仕園で障害児問題に取り組む。会社勤務を経て千葉県で小学校教員となる。さらに長崎県に勤務して現在に至る。

1985年の被爆40周年を機に日教組は全国被爆二世教職員の会を結成し、私は初代会長となり被爆2世の運動を始めた。1987年に訪韓し、在韓被爆者の存在を知り支援活動に力を注ぐ。退職後は「平和活動支援センター」を開き、在韓被爆者支援活動、中国人強制連行問題の取り組み、高校生の平和活動の支援や被爆者/被爆二世の運動の支援を行っている。

2. 母の被爆体験

1985年に母の被爆体験を初めて聞いた。

その被爆体験をまとめた。(『語り継ぐ父母の被爆体験』1987年2月発行)

《母から聞いた私が生まれるすこし前の出来事だった。祖母はわたしが高校生の時に亡くなつた。火葬した祖母の遺体からは原爆時のガラス片が出てきた。母は原爆のときのことをほとんど語らなかつた。1985年被爆40年の時に、はじめて、わたしに話してくれた。わたしの出生に関わるとも言える話を語り継ぐことの重要性を今更ながら感じざるを得ない。}

3. 被爆二世を実感した出来事～同級生「被爆二世のY君」の死～

1988年に被爆二世として体験したことを記録した。(『語り継ぐ父母の被爆体験第2集』)『あの日、1963年(昭和38年)4月28日の午後、恐ろしい出来事は突然やってきた。Y君はひどいめまいと頭痛を訴えてその場に座り込んでしまった。そして、その数日後には、「再生不良性白血病」の診断を受け、「あと2週間の生命」を言い渡された。当時の医療では、唯一の治療法が外からの輸血によって血液を補ってやることだった。しかし、それもただ少しばかりY君の生命を延ばすだけしかなかった。

Y君は1946年9月12日生まれ。両親とも被爆者だった。被爆後1年してY君が生まれ、Y君も元気に成長していたが、あの日をむかえたのだった。あの日までは、何の病気もしたことない健康で明るい子供だったのに。原爆でなくなった被爆者の様子と、Y君のそれは同じような症状だった。しかし、彼の場合は「原爆によるもの」という認定はなされなかつた。30万人とも50万人ともいわれる「被爆二世」に対して、国の責任として対策が何らなされていないことに対して、怒りにも似た疑問を

抱かずにはいられない。そして、直接の被爆者のみならず、その子ども達や孫達にまで、将来にわたくって不安を抱かせる「原爆」というものの恐ろしさを、今さらながら感じずにはいられない。

4. わたしの平和活動の軌跡

死の3日前にあった彼のやせ細ってはいたが、「生きたい」と訴えているあの目を忘れるることは出来ない。しかし、同じ被爆二世であり親である被爆者の被爆した場所もほぼ同じなのに、この同級生の死を「被爆2世の死」として受け止ることはなかった。やがて、1985年(被爆40年)を迎えることになった。このときは、明確に被爆者に被爆50年はない、被爆体験の継承を真剣に考えなければならないという課題が突きつけられた年だった。被爆体験を継承できるのは、身近に被爆者から体験を聞くことの出来る被爆者の子どもではないか、被爆二世がその役を引き受けるべきだという声があがっていた。

この年、被爆二世のはじめての全国組織「全国被爆二世教職員の会」が作られた。わたしは本格的に被爆二世として活動するようになった。

5. 在韓被爆者や中国人強制連行問題との出会い

1987年に日本の被爆二世訪韓団の一員として、韓国を訪問した。以来、今日まで在韓被爆者の支援を続けている。原爆は悲惨な出来事だが、長崎の爆心地の「原爆落下中心碑」ではない。原爆は落下したものではなく「投下」されたものだからだ。原爆は、自然災害ではなく、戦争の武器として使われた。戦争と原爆を考える上では、中国人/朝鮮人や捕虜の被爆の問題は避けては通れない課題だ。長崎の軍艦島や高島・端島・鹿町などに強制連行された中国人や平和公園で原爆のために亡くなった韓国・朝鮮人そして中国人の問題について考え。活動するようになった。

6. 若者の平和活動を支援

核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざす高校生平和大使は今年で24年目を迎える。高校生1万人署名活動が始まって今年で22年目を迎える。これまでに高校生平和大使として活動した高校生は全国で約300人、高校生1万人署名活動に参加した高校生は約5,000人になる。また、高校生1万人署名活動で集めた署名は累計で2,001,235筆になる。高校生の平和運動のきっかけを作ったながさき平和大集会は、当時、参加者が年々高齢化し、若者の姿が見えなくなってきた危機的な状況にあった。その状況を何とかしなければという中から「高校生平和大使」「高校生1万人署名活動」が生まれた。 今日では、ノーベル平和賞候補にもなり、運動の一定の成果はある。しかし、課題も山積している。課題の克服は簡単ではないが、せっかく芽を出した活動を育てていかなければならぬと決意している。

7. 高校生平和大使の始まり

1998年のインド、パキスタンの核実験を契機に生まれた高校生平和大使は、核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざす活動として24年目を迎える。高校生1万人署名活動が始まって今年で21年目を迎える。今では、全国16都道府県（北海道、岩手、福島、東京、神奈川、静岡、新潟、奈良、大阪、兵庫、広島、福岡、熊本、佐賀、大分、長崎）から高校生平和大使が出ている。高校生平和大使が派遣されるようになって24年目だが、国連欧州本部のあるジュネーブを訪問するようになって21年目になる。核兵器の廃絶を国連に訴えるならば、ジュネーブでは開かれる軍縮会議に粘り強く働きかける事が有効ではないかという国連からのアドバイスからジュネーブ訪問が始まった。

軍縮会議は、日本を含む65カ国が加盟している。1996年にCTBT（包括的核実験禁止条約）を交渉して以来、停滞状態が続いていた時期に、高校生平和大使が2001年からジュネーブにある国連欧州本部を訪問するようになった。国連の受け止め方も次第に変わって来た。平和大使たちが訪れると、議長から「ナガサキ ピース メッセンジャー」と紹介されるようになり、届ける署名も大切にされ、唯一の国連公認の署名といわれるまでになった。平和大使の英語でのスピーチも次第に説得力を増すようになってきた。このように、地道な24年間の活動で、低迷を続ける軍縮会議で存在感をアピールしてきた。

高校生平和大使の活動が全国的なものとなり、日本ばかりか国際的な認知度が高まったことから、核兵器の廃絶へ向けての具体的な成果が求められている。

8. 高校生平和大使・ノーベル平和賞候補までの歩み

- ・1998年11月 第1代 高校生平和大使が国連本部を訪問
- ・2001年 高校生1万人署名活動が始まる。
- ・2000年8月 第3代 国連欧州本部・ジュネーブを訪問

※以来、今まで毎年、訪問している。

- ・2002年8月 ローマ法王に謁見する。
- ・2007年8月 10周年記念の会を行う。
- ・2011年8月 東日本大震災被災地から参加するようになる。
- ・2012年 第15代高校生平和大使の時に、ノーベル平和賞への推薦の声があがる。
- ・2014年8月 軍縮会議でスピーチを行う。（～2016年まで）
- ・2015年8月 被爆70年、国連内でシンポジウム開催される。
- ・2015年 被爆70年を機に再びノーベル平和賞への推薦の声があがる。
- ・2017年 20周年を機に推薦の声があがる。推薦人は国会議員25人になる。（現在は53人）
- ・2018年3月 長崎・広島の高校生平和大使等4人でオスロ市を訪問。
ノーベル委員会も訪問した。

- ・2018年4月22日 ノルウェーのノーベル委員会から正式候補に成ったとの連絡があった。
以来4年目を迎える。

2020年7月には、核兵器禁止条約が採択された。賛成122ヶ国だった。2021年1月には条約は批准されるに至った。しかし、核保有国はおろか核の傘の元にいる国々は参加しなかった。唯一の戦争被爆国である日本も参加しなかった。

2019年12月に、高校生平和大使は河野太郎外務大臣を訪問した。活動報告の後、意見交換となり、河野外務大臣からは「活動を支援したいので何でも言ってほしい」との発言があった。それなら「核兵器禁止条約に署名してほしい。」と言いたいところだ。「唯一の戦争被爆国」である日本の対応も「核兵器の非人道性を改めて想起しなければならない。」としながら「核兵器保有国が関与しない核兵器禁止条約には賛成しがたい。」と言ってのけた。「唯一の戦争被爆国」という立場はどこにいったのだろうか。

9. 終わりに

高校生のスローガンは「ビリヨクだけどムリヨクではない」というものだ。NYテロ事件の時に生まれた言葉だ。故秋月辰一郎先生に「誰でも参加出来る市民集会を作りたい。そして、若い世代に被爆体験や戦争体験を伝えたい。協力してほしい。」との相談を受けた。秋月先生のあつい情熱と共に感し事務局長を引き受けた。しかし、簡単ではなかった。当時の平和団体50団体でスタートし、1989年第1回ながさき平和大集会を平和会館で開催した。800人の参加で大成功だった。順調にスタートした平和大集会だったが、秋月先生が病気で倒れられた第5回以降は苦難の連續だった。次第に集まる人が減ってきた。特に、当初の目的である「若い人の参加」は全く実現できなかった。考え方の違いも出てきた。1998年、インドとパキスタンの核実験の時に高校生平和大使を発案した。しかし、派遣の実現は予想以上の苦労があった。高校生平和大使がもとになって、高校生1万人署名活動がはじまった。以来、24年にわたって活動は継続され全国化している。国連の対応も当初とは格段の違いを見せている。ノーベル平和賞にノミネートされるまでに評価が高まっている。しかし、平和をめぐる情況は厳しいものがある。高校生の活動がこうした閉塞状況を打破する一助になれるよう努力していきたい。

長崎大会・閉会行事

日 時 2021年8月9日（月） 9：00～9：45

会 場 長崎県立総合体育館／長崎市油木町7-1

主 催 被爆76周年原水爆禁止世界大会実行委員会

長崎大会・閉会行事プログラム

開会あいさつ 道平哲也（みちひらてつや）／長崎県平和運動センター青年女性協議会事務局長

主催者あいさつ 川野浩一（かわのこういち）／実行委員会共同実行委員長

まとめ 第1分科会：小林郁子（こばやしいくこ）（自治労）

第2分科会：西部真紀子（にしべまきこ）（北海道）

第3分科会：田口勇作（たぐちゅうさく）（社青同）

第4分科会：千葉聰美（ちばさとみ）（日教組）

全体総括：北村智之（きたむらともゆき）（実行委員会事務局長）

アピール採択 山下薰（やましたかおる）／長崎県平和運動センター青年女性協議会常任幹事

閉会あいさつ 米村豊（よねむらゆたか）／長崎大会実行委員会副実行委員長

長崎大会・平和行進

出 発 2021年8月9日（月） 10：00 （閉会総会終了後）

平和行進 県立総合体育館～爆心地公園／長崎市松山町5

黙とう 11：02 爆心地公園

YouTube配信URL・QRコード

<https://youtu.be/JrdF9lqVJDs>

8：55～配信開始



各種會場・宿泊旅館 案內

NA·GA·SA·KI

◎ 路面電車経路

10

九

1

1

四